

(表)

不 動 産 損 害 申 告 書

年 月 日						
消防署長		様				
		住所 申告者 氏名		⑩		
		職業		電話		
1	り 災 物 件 の 所 在 地			り 災 年 月 日		
	り 災 物 件 と 申 告 者 と の 関 係			所 有 者 ・ 管 理 者 ・ 占 有 者		
	建築又は取得年月 年 月 (推定・記録・記憶・不明)					
	1 坪 (3.3 m <sup>2</sup> ) 当たり金額		円 (推定・記録・記憶・不明)			
	総 金 額		円 (推定・記録・記憶・不明)			
2	取 得 後 の 経 過					
	種 別	年 月	費 用	内 容	延 面 積	
	増 築				m <sup>2</sup>	
	改 修 築 繕				m <sup>2</sup>	
3	建 物 の り 災 前 の 状 況					
	用 途	外 壁	屋 根	階 数	建築面積	面 積
				地上 地下	階 階	m <sup>2</sup> m <sup>2</sup>
	居住世帯数		世帯		居住人員 名	
4	建 物 ・ 収 容 物 以 外 の り 災 状 況					
	り 災 物 件		り 災 の 別		数 量 等	取 得 年 月
			焼・消・爆・他			
5	契 約 火 災 保 険					
	契 約 会 社 名			契 約 保 険 金 額 契 約 年 月		
(備考)						

(裏)

## 不動産り災申告書記載要領

### (1の欄)

- 1 り災物件と申告者との関係は、あてはまるものを○で囲んでください。
- 2 建築、購入年月、金額の欄は、記録（帳簿や契約書など）によって明らかなもの、推定によるものなど、あてはまるものを○で囲んでください。
- 3 金額の欄は、建物を取得した当時の土地の価格を除いた1㎡又は坪当たりの金額と、総金額を円単位で記入してください。

### (2の欄)

- 1 取得後の経過の欄は、建物を取得してから、規模の大きな建物の修繕、改築、増築に要した経費を記入してください。

例

	年 月	修繕した箇所	金額
改 築	平成 26 年 5 月	台所	500,000 円
増 築	平成 25 年 10 月	1 階居間（5 坪）	2,000,000 円

### (3の欄)

- 1 り災前の建物詳細の欄は、建物の用途、屋根、外壁の構造材、階数、延べ面積を記入してください。

例

用 途	屋 根	外 壁	階 数	建築面積	延べ面積
住 宅	日本瓦	金属サイディング	2 階	51 坪	50 坪

- 2 居住世帯数・居住人員の欄は、建物内すべてに居住する世帯と人員を記入してください。

### (4の欄)

- 1 建物・収容物以外のり災状況の欄は、建物の収容物以外の庭木類、塀などがり災した場合に記入してください。
- 2 り災別の欄は、あてはまるものを○で囲んでください。
  - (1) 焼：火災によって焼けた物及び熱によって炭化、溶融、又は破損したもの。
  - (2) 消：消火活動によって受けた水損、破損、汚損したもの。
  - (3) 爆：爆発現象の破壊作用によって受けた前記(1)、(2)以外のもの。
  - (4) 他：火災により生じた前各号以外のもの。（人的被害は除く）

### (5の欄)

- 1 火災保険の加入が数社ある場合は、すべて記入してください。
- 2 保険金額は、契約会社別に万単位で記入してください。

## 備 考

- 1 この申告書は、消防法第34条に基づいて提出を求めるものです。
- 2 この申告書は、り災した建物1棟について1枚を使用してください。
- 3 この申告書は、り災した日から起算して7日以内に提出してください。
- 4 り災建物の関係者の現在使用可能な連絡先を記入してください。
- 5 火災によるり災証明を発行する場合、平日日中のみの受付となり、1日から2日の猶予をいただく場合があります。

## お問い合わせ

久慈消防署	電話 0194 (53) 0119
山形分署	電話 0194 (72) 3119
野田分署	電話 0194 (78) 2119
普代分署	電話 0194 (35) 2119
洋野消防署	電話 0194 (65) 6119
大野分署	電話 0194 (77) 4119